

2. 各コースの説明（基本構成）

以下がプロフェッショナル育成コースの説明です。コースのチェアパーソンには担当者一覧の氏名の前に◎がついています。氏名に下線のある教員は、政策・メディア研究科委員です。

コースの概要についてはP.8<プロフェッショナル育成コース>を確認してください。

2-1. 環境イノベーターコース

環境イノベーターコースは、アジア・アフリカの発展途上国における気候変動への緩和・対応策を、環境ビジネス、環境政策、環境デザイン、社会企業から実践的に研究し、事業センスと公益センスを兼ね備えた、環境リーダーの育成を目的としています。なお、本コースは原則、英語対応です。ただし、日本語による学習も十分に配慮します。

【関連プロジェクト科目】

EI コース担当者の教員がリーダーまたはメンバーとして担当をしているアカデミックプロジェクト

【担当者】

池田 靖史、一ノ瀬 友博、大木 聖子、大前 学、蟹江 憲史、清木 康、◎巖 網林、小林 博人、古谷 知之

【コース参加教員（他学部・他研究科所属教員、非常勤教員等）】

加藤 真、ティースマイヤ、リン、松尾 直樹、吉高 まり

【キャリア・資格等】

キャリア：都市デザイナー、建築デザイナー、低炭素ビジネスマネジャー、政策分析専門家、社会起業家、コミュニティ・リーダー、グローバル・リーダー

就職先：民間企業、国際機関、国家公務員、地方自治体、コンサルティング、シンクタンク、NPO/NGO など

【サティフィケート修得要件】

サティフィケート名称 「環境イノベーター (Environmental Innovator)」

各科目区分の最低単位数を満たし、修士（政策・メディア）の学位を取得すること

科目区分	科目名	履修区分	最低単位数
基礎科目	環境測定演習、地域創造演習、環境科学技術・政策特論、環境情報システム構築法	選択必修	6 単位
	概念構築 (EG1)、概念構築 (EG2)、概念構築 (ヒューマンセキュリティ)	選択必修	
	先端研究 (EG1)、先端研究 (EG2)、先端研究 (社会理論と開発)、先端研究 (アジア途上地域)	選択必修	
共通科目	フィールドワーク (環境フィールドワーク、環境デザイン・フィールド・ワークショップ、フィールドワーク A/B/C/D)	選択必修	14 単位
	インターンシップ (インターンシップ A/B)、環境デザイン特別演習 1/2/3 (各 4))	選択必修	
	プロジェクト科目 (プロジェクト、アカデミックプロジェクト(1))	每学期必修	
	修士研究会	每学期必修	
	修士プロジェクト (修士論文 1 (1) または修士論文 2 (1) もしくは非修論オプション)	必修	
専門科目 *3	環境デザイン系 応用環境デザイン(建築とランドスケープのデザイン) (4)、応用環境デザイン(都市環境のデザイン) (4)、応用環境デザイン(グリーン・アーキテクチャ・デザイン) (4)、応用環境デザイン(総合) (4)、ランドスケープデザイン、都市デザイン論、環境の変遷、環境空間論、建築技術論、建築構成論、建築環境制御論、安全環境論、サステナブル建築・都市特論、都市空間の構成、環境科学技術・政策特論 ^{*1}	選択	14 単位
	環境政策系 先端研究 (社会理論と開発) *1、デジタルアース論、空間モデリング特論、宇宙法、ポリシーマネジメント (開発とヒューマンセキュリティ)、開発とローカリズム、生物多様性科学特論、地球環境政策、持続的開発のためのアジア・太平洋イニシアティブ、Environmental Law and Economy、地球環境資源学、都市政策、概念構築 (ヒューマンセキュリティ) *1、地球環境法、空間分析 (4) *2、大規模環境システム構築法、環境情報システム構築法 ^{*1}		
	環境ビジネス系 環境ビジネスデザイン論、低炭素社会デザイン演習 1(4)、低炭素社会デザイン演習 2(4)、低炭素社会設計論、エネルギー環境論、環境技術システム論、地球環境技術論、エネルギー政策分析、International Environmental Problems、環境化学特論、大気環境科学、Environmental Economic Policy、グローバル環境政策特論		
	社会起業系 先端研究 (ケースメソッド)、社会起業とイノベーション、個益公益のデザイン 1/2、ソーシャルファイナンス、ソーシャルビジネスの商品開発とプロモーション、社会イノベーションとデザイン、ポリシーマネジメント (政策形成とソーシャルイノベーション)、ベンチャー経営論、行政組織の経営、経営戦略特論、地域情報化論、ファミリービジネス論		

- ・ 選択必修は、それぞれの科目群から最低 1 科目の単位取得が必要です。
- ・ 専門科目 14 単位は環境デザイン系、環境政策系、環境ビジネス系、社会起業系の制約はありません。

*1 「概念構築 (ヒューマンセキュリティ)」、「先端研究 (社会理論と開発)」、「環境科学技術・政策特論」、「環境情報システム構築法」は、基礎科目または専門科目いずれか一方の分野でサティフィケート要件として認定できます。ただし、両方の分野で認定 (ダブルカウント) はできません。

*2 「空間分析」は、総合政策学部・環境情報学部設置の科目です。